



釣燈籠 個人蔵

戦後75年

あの日を生きた先人たち

久長 ● 運武



慰問ハガキ

千人針「武運長久」 昭和12年 個人蔵



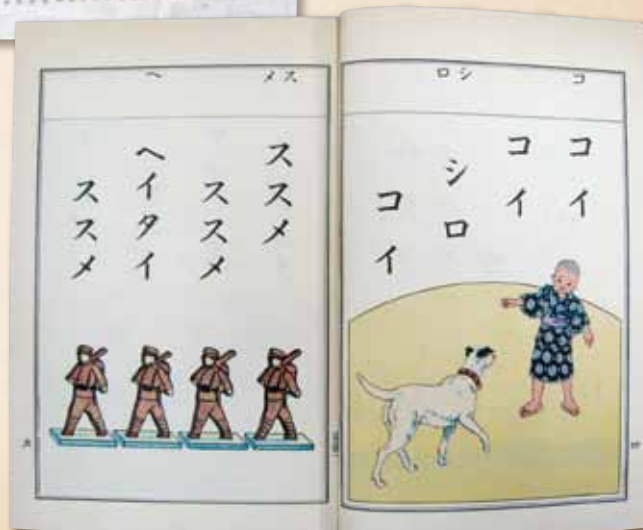
絵ハガキ「海軍生活」



小宅国民学校 木銃による訓練



慰問の手紙 個人蔵



『ヨミカタ』 昭和16年



海軍兵学校卒業証書 大正5年

令和2年8月1日(土)～9月13日(日)

新型コロナウイルス感染防止対策のため入館制限する場合があります。

映像資料：武勲輝郷土皇国将兵慰問記録(昭和13年)
竜野駅での出征兵士の見送り(昭和12年ごろ)

たつの市立龍野歴史文化資料館

〒679-4179 兵庫県たつの市龍野町上霞城128-3

TEL 0791-63-0907 FAX 0791-63-0998

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/rekibun/>

入館料

■一般 200円(150円) ■65歳以上 100円

■小～大学生 100円(60円)

* ()内は20名以上の団体料金

休館日

月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日及び翌々日)

開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)



戦後75年 あの日を生きた先人たち

当館では、戦後50年の特別展「あの日私たち」、戦後70年には企画展「あの子どもたち」を開催し、戦争について、そして平和について考える機会としてきました。終戦から75年の月日が流れ、戦争体験者は少なくなり、その記憶も薄れつつあります。

そこで、本展では様々な資料から、当時の時代背景やその時代を懸命に生きたふるさとの先人たちの姿を紹介します。



七五三用羽織 昭和初期



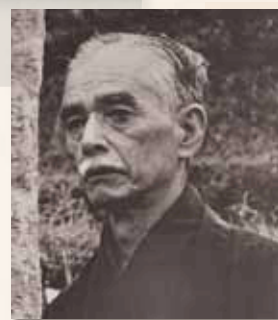
金属回収に就てのチラシ 昭和17年



三木露風となか婦人



田中静壹（後列中央）と西田正雄（向かって後列右端）



内海信之と詩集『硝煙』



三木清と『人生論ノート』



丸山義二と『庄内平野』



反戦詩人でありながら、やむを得ず公職に就き、若者の出兵を嘆いた**内海信之**。終戦間際の若手将校のクーデターを阻止した後に自決した**田中静壹**陸軍大将。多くの同人が軍歌を作る中、軍歌を作らなかった**三木露風**。哲学者として世界的に高い評価を受けていたにもかかわらず、獄中において無念の死を遂げた**三木清**。田中の義弟で、龍野中学校では三木清の同期であった戦艦「比叡」最後の艦長**西田正雄**。文人として戦後を悔悟と苦悶の思いで過ごした農民文学者**丸山義二**。国民総動員で戦争へ突き進んだ時代、多くの人々が軍国主義の大きな渦に巻き込まれていきました。そのような時代にそれぞれの置かれた立場によって様々な生き方をした郷土の先人たち。

戦争の悲惨さや残酷さを知らない世代が大多数となる中、今を生きる私たちは、その時代を考察しながら、先人たちの生き様から多くを学び、戦争の犠牲となりながらも平和な日本の礎となった人々の思いを見つめ直すことが今こそ必要ではないでしょうか。本展がその一助となれば幸いです。